Enhancer

Image Enhancement Software



akvis.com

CONTENTS

- アプリケーションの用途
- Windowsでのインストール
- Macでのインストール
- プログラムの登録
- 操作方法
 - ワークスペース
 - 操作方法
 - [詳細を鮮明に]モード
 - [プリプレス]モード
 [色調補正]モード

 - 後処理
 - バッチ処理
 - 環境設定 • 印刷
- 操作例
 - 新鮮なイチゴ(色調補正モード)
 - 透き通った氷(プリプレスモード)
 - 街路(詳細を鮮明にモード)
- AKVISプログラム

AKVIS ENHANCER 17.5 | 詳細を引き立てるツール

暗い部屋で黒猫の写真を撮影した場合、理想からかけ離れた結果となるでしょう。

あるいは、美しい景色を撮影したら、自動設定で空にフォーカスされてしまい、露出が均一ではなくなった。空は美しく映りますが、景色は露出不足のため何が映ってい るかすら見えづらくなります。

標準の露出補正ツールを使用すると、よく撮れていた部分まで台無しにしてしまう恐れがあります。 しかし、AKVIS Enhancerは写真をそれぞれの部分ごとに処理 します。

AKVIS Enhancer は、不鮮明になってしまった原因に関わらず、ディテールを高めることができるイメージ補正ソフトウェアです。本プログラムは、露出が均一ではない写真から露出不足、露出過度、中間調の各領域のディテールを検出します。



AKVIS Enhancerは詳細を鮮明に、プリプレス、および色調補正の3つのモードで動作します。

詳細を鮮明にでは色遷移を強めることで1つのショットのディテールを引き出します。 つまり、異なる色合いを持つ隣接するピクセル間の違いを強化することで、影の ディテールだけでなく、露出過度や中間調の領域のディテールも引き出します。

プリプレスモードで、プログラムを使って、印刷またはオンラインで公開する前に写 真を調整します。このモードを使用して、境界のシャープネスおよび画像のコントラ スト を高めます。高品質な写真でも、プロフェッショナルな見栄えに仕上げるにはプリプレス処理が必要です。

色調補正。このモードは、明暗のある領域の明るさを訂正することでイメージのトーン訂正のために使用されます。結果としてイメージ全体の印象が変わってきます。変 更は、イメージ全体、または訂正のために選択した色に属したイメージの一部で行われます。



このツールは**家族写真や芸術写真などの補正**だけに限らず、商用利用にも効果的です。Enhancerを使用することで、技術文献の出版社なら詳細な装置説明 図を作成したり、医師ならX線写真の詳細度を高める、等が可能です。



本プログラムは、独立したプログラム (スタンドアロン) およびフォトエディタ用プラグインの2つのバージョンが用意されています。

プラグイン版は、AliveColors、Adobe Photoshop、Photoshop Elements、PaintShop Pro、Photo-Paintなどと互換性があります。詳細については互換 性ページを参照してください。



インストール

AKVIS Noise Buster AI を Windows OS 搭載の PC にインストールするには、次の指示に従います。

- セットアップ用の exe ファイルをダブルクリックして起動させます。
- 言語を選択し、[OK]をクリックするとインストール画面が表示されます。
- インストールを続行するには、ライセンス契約書を読み、同意する必要があります。

[使用許諾契約の条項に同意します]チェックボックスをオンにして、[次へ]をクリックします。

使用許諾契約書					\leq	7
以下の使用許諾契約書をよくお読みください。					A	
AKVIS エンドューザ	~ ライセンス使用許諾契約	約書				^
<u>ユーザーへの注意:</u>						
このエンドユーザー ライト	2~2 使用許諾契約書 (1)下	「本契約」)(は法的拘束す	りを持ちま	す。ソフト	
ウェア使用前に必ず全的	本を注意深くお読みください。:	本契約は、あ	なた(ユーザ・	-自身)の)製品の	
ウェア使用前に必ず全く 使用について定めたもの	本を注意深くお読みください。: りです(以下に示す条件のもと	本契約は、あ)。AKVIS製 がなきを Fà(i	なた (ユーザ・ 品へのアクセ) かります。本:	-自身)の スは、本事)製品の 過約のす	
ウェア使用前に必ず全1 使用について定めたもの べての条項に同意する。 契約に同意してインスト	本を注意深くお読みください。 かです(以下に示す条件のもと ことによって制限なく楽しむこと 、ールを続けるか、同意しないで	本契約は、あ)。AKVIS製。 ができるように でインストール?	なた (ユーザ・ 品へのアクセ) なります。本 を中断し、か	- 自身)の スは、本事 契約の最 つソフトウ)製品の 過約のす 後に、本 ェアも使	
ウェア使用前に必ず全1 使用について定めたもの べての条項に同意する。 契約に同意してインスト 用しないかのどちらかをう	本を注意深くお読みください。: りです(以下に示す条件のもと ことによって制限なく楽しむこと 、ールを続けるか、同意しないて 選択するよう求められます。本、	本契約は、あ)。AKVIS製 ができるように でインストール? ソフトウェアを1	なた(ユーザ・ 品へのアクセ) なります。本 を中断し、か・ (ンストールし	-自身)の スは、本書 契約の最 つソフトウ 使用する)製品の 22約のす 3後に、本 17も使 ことで、本	
ウェア使用前に必ず全付 使用について定めたもの べての条項に同意する。 契約に同意してインスト 用しないかのどちらかをう 契約のすべての契約条	本を注意深くお読みください。 っです(以下に示す条件のもと ことによって制限なく楽しむこと 、ールを続けるか、同意しないて 選択するよう求められます。本、 件に同意したものとみなします	本契約は、あ)。AKVIS製。 ができるように でインストール? ソフトウェアをつ 。	なた(ユーザ・ 品へのアクセ) なります。本 を中断し、か・ (ンストールし	-自身)の スは、本書 契約の最 つソフトウ 使用する)製品の 認約のす 後に、本 エアも使 ことで、本	*
ウェア使用前に必ず全1 使用について定めたもの べての条項に同意する。 契約に同意してインスト 用しないかのどちらかをう 契約のすべての契約条	本を注意深くお読みください。 っです(以下に示す条件のもと ことによって制限なく楽しむこと 、ールを続けるか、同意しないで 選択するよう求められます。本、 件に同意したものとみなします に 同意します(A)	本契約は、あ)。AKVIS製、 ができるように でインストール・ ソフトウェアを~ 、	なた(ユーザ・ 品へのアクセ) なります。本 を中断し、か・ (ンストールし	-自身)の スは、本考 契約の最 つソフトウ 使用する	D製品の 22約のす :後に、本 エアも使 ことで、本	~
ウェア使用前に必ず全(使用について定めたもの べての条項に同意する。 契約に同意してインスト 用しないかのどちらかを) 契約のすべての契約条	本を注意深くお読みください。: かです(以下に示す柔件のもと ことによって制限なく楽しむこと ~ールを続けるか、同意しないで 異択するよう求められます。本、 件に同意したものとみなします に同意します(A)	本契約は、あ)。AK VIS製 ができるように でインストール・ ソフトウェアを一 ・。	なた(ユーザ・ 品へのアクセ) なります。本 を中断し、か・ (ンストールし	- 自身)0 スは、本き 契約の最 つソフトウ 使用する	D製品の 22約のす :後に、本 ェアも使 ことで、本	*

• プラグイン版をインストールする場合は、一覧から使用するフォトエディターを選択します。

スタンドアロン版をインストールする場合、[Standalone]が選択されていることを確認ください。 デスクトップにプログラムのショートカットを作成する場合、[デスクトップにショートカットを作成]を選択します。

[次へ]をクリックします。

KVIS Enhancer	セットアップ				_	
くタム セットアッ	ナ					Ň
機能をインストー	ルする方法を	選択してください	. ¹ .			AK
ፑውሣሀーወアイ	コンをクリックし	て、機能をイン	ストールするプ	ち法を変更し	してください	١,,
	Enhancer					
	Stand	iaione 1 デスクトップ ト	· ภาวล – เ- ภาง	F		
	Plugin] / ///////				
		AliveColors	1	1.33		
		Adobe Photo	shop CC (64 shop CC 201	-DIT) 5.5 以路 (6	4-bit)	
		Adobe Photo	shop CC (32-	-bit)		
		Adobe Photo	shop CC 201	5.5以降(3	2-bit)	•
易所:	C:\Progr	am Files \AKVI	S\Enhancer\		参	照(R)
		Г				

• [インストール]ボタンをクリックします。

টি AKVIS Enhancer セットアップ		ŝ	_		×
AKVIS Enhancer のインストール準	備完了			AKVIS	Ê
インストールを開始するには [インスト (は変更するには [戻る] をクリックしてく) してください。	ール] をクリックしてく ださい。ウィザードを	ださい。インストー 終了するには [キ	ル設定 ャンセル	を確認また] をクリック	27
	戻る(B)	インストール(1)		キャンセ	216

インストール処理が開始されます。

# AKVIS Enhancer セットアップ	-		Х
AKVIS Enhancer をインストール中		AKVIS	G.
AKVIS Enhancer をインストールしています。 しばらくお待ちください。			
状態: 新しいファイルをコピーしています			_
戻る(B) 次	:^(N)	キャンさ	216

これでインストールは完了です。

AKVIS ニュースレターの購読を申し込むと、アップデート、イベント、割引きキャンペーン等についてのお知らせを受け取ることができます。メールアドレスを入力 し、プライバシーポリシーを確認し、同意する必要があります。



• [終了]をクリックします。

スタンドアロン版をインストールすると、[スタート]メニューにプログラムの新しい項目が追加されます。[デスクトップにショートカットを作成]オプションを選択した場合、デ スクトップにショートカットも追加されます。

プラグイン版をインストールすると、フォトエディターの[フィルター]または[効果]メニューに新しいアイテムが追加されます。Photoshop の場合、[フィルター] > [AKVIS]> [Noise Buster AI]となります。

インストール

AKVIS Enhancer を Mac PC にインストールするには、次の指示に従います。

- dmg ファイルを開きます:
 - akvis-enhancer-app.dmg (スタンドアロン版をインストールする場合)
 - akvis-enhancer-plugin.dmg (プラグイン版をフォトエディターにインストールする場合)
- ライセンス使用許諾契約書を読み、同意する場合は、[Agree(同意)]をクリックします。



• Finder が開き、AKVIS Enhancer App または AKVIS Enhancer PlugIn フォルダーが表示されます。

•••	AKVIS Enhancer	•••	🛄 AKVIS E	nhancer Plugin	
AKVIS Enhancer	TXT readme.txt	AKVIS Enha	Noncer Plugin	readme.txt	
AKVIS Enhancer		AKVIS Enhance	ar Plugin		

• スタンドアロン版をインストールするには、AKVIS Enhancer アプリケーションを [Applications] フォルダー、または希望の保存先にドラッグします。

プラグイン版をインストールするには、[AKVIS Enhancer PlugIn]フォルダーを、グラフィックエディターの[Plug-Ins]フォルダーにドラッグします。

Photoshop CC 2022, CC 2021, CC 2020, CC 2019, CC 2018, CC 2017, CC 2015.5 の場合、Library/Application Support/Adobe/Plug-Ins/CC

Photoshop CC 2015 の場合、Applications/Adobe Photoshop CC 2015/Plug-ins Photoshop CS6 の場合、Applications/Adobe Photoshop CS6/Plug-ins に移動させます。



プラグイン版をインストールすると、フォトエディターの[フィルター]メニューに新しいアイテムが追加されます。Photoshop の場合は、【フィルター】 > 【AKVIS】 > [Enhancer]が追加されます。

スタンドアロン版は、Finder のアイコンをダブルクリックすることにより実行します。

AKVIS プログラムを実行する別の方法は、[Image]メニューの[Edit With]コマンドから、Photos アプリケーションを選択することです (High Sierra 以降の macOS)。

AKVIS製品のアクティベーション方法

注意: この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

インターネット接続環境がない場合、別の方法でのアクティベーションも提供しています(詳細は「オフライン アクティベーション」を参照)。

AKVIS Enhancer をダウンロードし、プログラムをインストールしてください。インストール方法の詳細はこちら。

アクティベーションを行っていないプログラムを起動すると、スプラッシュ ウィンドウが表示され、バージョン情報や試用期間の残り日数等を知らせてくれます。 [バージョン情報]ウィンドウは、プログラムのコントロールパネル内の 🍙 ボタンをクリックして表示することもできます。



ソフトウェアを試しに使う場合は、[試用]をクリックします。新しいウィンドウが開き、試用可能なライセンスの一覧が表示されます。

ソフトウェアのすべての機能を試用するために、試用版をアクティベートする必要はありません。プログラムを試用期間の10日間、使用するだけです。

試用期間中にすべてのオプションを試すことができますので、利用環境に最適な種類を選んで購入できます。使用するバージョンを選択します。Home(プラグイン/ス タンドアロン)、 Home Deluxe またはBusinessから選択します。選択するライセンスによってプログラムで利用できる機能が異なります。ライセンスの種類やソフト ウェアのバージョンに関する詳細は、比較表を参照してください。

試用期間が終了している場合、[試用]ボタンは選択できません。

[購入]ボタンをクリックして、購入するライセンスを選択してください。

支払いが完了するとすぐに、プログラム用のシリアル番号が送られます。

アクティベーション処理を開始するには、[アクティベート]をクリックします。

AKVIS Enhancer	版本 17.5.2492.21755-r app (64bit)	8
	激活	
客户名称:	John Smith	
序列号(密钥):	1234-5678-9012	
	● 直接连接到激活服务器	
	○ 通过电子邮件发送请求	
序列号丢失了? <u>在此处</u>	<u>既复</u> 序列号。	
激活问题? <u>联系</u> 我们。		
<u>复制 H</u> WID.		激活
	© 2004-2022 AKVIS.保留所有权利。	

お客様名を入力します (プログラムはこの名前で登録されます)。

シリアル番号 (アクティベーション キー) を入力します。

アクティベーション方法 (アクティベーション サーバーへの直接接続または電子メール)を指定します。

アクティペーション サーバーへの直接接続:

直接接続を利用して登録を行う方が安全かつ迅速に処理が行えますので、弊社ではその方法を推奨しています。

この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

[アクティベート]をクリックします。

これでアクティベーションは完了です!

電子メールでリクエストを送信:

[電子メールでリクエストを送信]を選択した場合、プログラムによって、必要な情報をすべて含んだ新規メールが作成されます。

注意: この方法は、オフラインアクティペーションでも利用できます。

コンピューターがインターネットに接続されていない場合、USB 等を利用して、インターネットに接続されているコンピューターにアクティベーションに関するデータを 移動させます。情報の送り先:activate@akvis.com までお送りください。

スクリーンショットを添付しないでください!テキストだけをコピーして、保存してください。

必要な情報は、ソフトウェアのシリアル番号、お客様名、コンピューターのハードウェアID (HWID) です。

この情報を元に、ライセンスファイル(Enhancer.lic)を作成し、登録されているメールアドレスにお送りします。

この .lic ファイルを開けずに保存します。保存先は、ソフトウェアをアクティベートするコンピューターの [AKVIS]フォルダー ([ユーザー] > [パブリック] > [パ ブリックのドキュメント]) です。

• Windows 7/8/10 の場合:

Users\Public\Documents\AKVIS;

Mac の場合:

Users/Shared/AKVIS

これでアクティベーションは完了です!

プログラムがアクティベート済みの場合、[購入]は[アップグレード]に変わり、ライセンスのアップグレードができるようになります。たとえば、Home から Home Deluxe または Business へのアップグレードができます。

ワークスペース

AKVIS Enhancer は、独立したスタンドアロン プログラムとして、また、ご使用のフォトエディターのプラグインとしても機能します。

- スタンドアロンは独立したプログラムでプログラムのアイコンをクリックして開くことができます。
 - スタンドアロン版を起動する方法:

Windows コンピューターの場合: [スタート] メニューまたはプログラムのショートカットを使用します。

Mac コンピューターの場合: [アプリケーション]フォルダーからアプリを起動します。

• プラグインは、Photoshop等のフォトエディターのアドオンとして動作します。

プラグイン版を呼び出すには、イメージエディターのフィルターから選択します。

AKVIS Enhancer のワークスペースは次のように表示されます。



AKVIS Enhancer ワークスペース: [処理後]タブ

プログラム ウィンドウの左側には**イメージ ウィンドウ**があり、**[処理前]と[処理後]**の2つのタブで構成されています。**[処理前]**タブには元のイメージが表示され、**[処理** 後]タブには処理済みのイメージが表示されます。タブを切り替える場合はマウスでクリックします。 イメージウィンドウと[処理前]、[処理後] タブの表示方法は、左側パネル下部のイメージの表示モードで変更できます。



コントロールパネルには以下のコントロールが含まれています。

「一〇二 : AKVIS Enhancer のホームページに移動します。

I イメージを開きます(スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Windows の場合Ctrl+Oキー、Mac の場合 H+Oキーを押します。

このボタンを右クリックすると、最近使用したファイルの一覧が表示されます。表示するファイル数をプログラムの[環境設定]で変更することもできます。

この操作に対するホットキーは、Windows の場合

Ctrl +Sキー、Mac の場合

第 +Sキーを押します。

「印刷」ダイアログボックスを開き、処理結果を印刷できます(スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Windows の場合Ctrl+P
キー、Mac の場合 田+Pキーを押します。

💦 : プログラムから 等のソーシャル ネットワークに写真を公開することができます。

ジブリセット一覧をインポートします(クリセットとはユーザーが保存しておいたイメージ処理に使用する各種設定)。プリセットは拡張子.enhancer の別ファイルに保存できます(保存可能なプリセット数に制限はありません)。
 ボタン(スタンドアロン版のみ): 画像をまとめて自動変換できる バッチ処理ダイアログを開きます。
 ボタン: 全体のイメージの画像処理を行います。(プリプレスと色調補正モードのみ。)
 : 変換結果をイメージに適用し、プログラムを閉じます(プラグイン版のみ)。
 : プログラムに関する情報を含む、バージョン情報ウィンドウを開きます。
 : ヘルプファイルを呼び出します。この操作に対するホットキーは、F1です。
 : プログラムの環境設定を変更するための[環境設定]ダイアログボックスを開きます。
 : このボタンは、Enhancerに関する最新ニュースを表示するウィンドウを開きます。

イメージウィンドウの左側には、以下のボタンを含むツールバーがあります。

1 スタンドアロン版のみになりますが、切り取りツールを有効にし、画像内の不要部分の切り取りを行うことができます。

|________ : **手のひら**ツールを有効にし、画像を動かして**イメージウィンドウ**に表示されていない部分を表示できます。実際にツールを使用するには、画像上でク リックしたままドラッグして表示画像を動かします。

ツールパー上にあるツールのアイコン 🔊 をダブルクリックすると、イメージは、イメージウィンドウに合わせたサイズで表示されます。

[スーム]ツールを有効にし、イメージの表示サイズを変更します。クリックすると、ズームイン(拡大)します。クリックしながらAltキーも押すと、ズームアウトします。Zキーを押すと、クリックなしで、ズームツールに切り換えられます。

ツールバー上にあるツールのアイコン (の) をダブルクリックすると、イメージが100%の倍率(実際の大きさ)で表示されます。

下部には、イメージウィンドウの表示に関する3種類のボタンがあります。

イメージをナビゲートしたり、拡大/縮小するには**ナビゲーター**を使用します。**ナビゲーター**の赤枠で囲まれた領域は、現在イメージ ウィンドウに表示されている領域で す。赤枠の外はグレー表示になり、イメージ ウィンドウに表示されません。赤枠をドラッグすると画像の表示領域を変更できます。赤枠を移動させるには、マウスをクリック したままカーソルをドラッグします。



イメージ ウィンドウで画像をスクロールするには、キーボードのスペースキーを押しながら画像をドラッグします。マウスのスクロールホイールを使うと、イメージは上下に動き、Ctrlキーを押しながらの場合は左右に動き、Altキーを押しながらの場合は拡大/縮小されます。スクロールバーを右クリックすると、クイックナビゲーション メニューが表示されます。

スライダーを使用して、イメージ ウィンドウ内のイメージを拡大/縮小することができます。スライダーを右に動かすと、イメージは拡大されます。スライダーを左に動かすと、イ メージは縮小されます。

さらに、[拡大/縮小]欄に値を入力してイメージを拡大/縮小することもできます。プルダウンメニューには、使用頻度の高い値が表示されます。

画像の拡大/縮小は、ホットキーを使っても行えます。+とCtrl ++ キー(Mac の場合は H++) で拡大、-とCtrl +- キー(Mac の場合は H+-)で縮小します。

ナビゲーターの下には、設定パネルがあり、イメージの補正モードを選択して関連するパラメーターを調整できます。

[プリセット]フィールドでは、現在の設定内容をプリセットとして保存できます。保存したプリセットは後で使用できます。プログラムの起動時には、最後に使用したプリセッ トが使用されます。

設定パネル の下には、カーソルをパラメーターやボタンに合わせた場合に ヒント が表示されます。ヒントの表示位置や表示/非表示の設定はプログラムの環境設定 で行うことができます。

イメージの表示モード

AKVIS Enhancer のツールバーの下部には、イメージウィンドウの表示を選択できる3種類のボタンがあり、処理前と処理後タブに分類されます。



- 一番上のボタンは、元の画像と処理後の画像の表示方法に関するサブメニューが表示されます。
 - ◇ ── ボタンは、標準的なイメージウィンドウで、[処理前]タブと[処理後]タブを切り替えることができます。

 は、縦もしくは横に分断されたイメージウィンドウになります。元のイメージと処理後のイメージが両方とも部分的に表示されます。[処理 前]および[処理後]の2つのタブが1つのイメージウィンドウを構成します。



この配置によって、[処理前]と[処理後]の縦横比を変えてスプリッターをドラッグすることができます。

したしていた。
 したしていた。
 したし、前述のものとは異なり、元のイメージと処理後のイメージの同じ部分が表示されます。



注意:一度に同じ画面で元のイメージと処理結果を比較したい場合には、半分のウィンドウを選択します。処理後のイメージを全体としてみたい場合には、最初に挙げた標準的な**イメージウィンドウ**を選択します。

● 👔 は分割ウィンドウで表示している場合において、元のイメージと処理後のイメージの位置を入れ替えます。

 一番下のボタンは、イメージウィンドウの背景色を選択します 		のいずれかをクリックすると、背景色が白、グレー、黒に変わります。
をクリックすると、 [色の選択] ダイアログが表示され、背景色を	任意の色に変更でき	ます。

操作方法

AKVIS Enhancer は、写真のディテールを引き立て、暗い写真の修正をしたり、トーンやコントラストの調整をしたり、イメージを明るくしたりします。AKVIS Enhancerは、個々にアプローチする手法を用いています。独立したスタンドアロンプログラムとしても、お使いのフォトエディターのプラグインとしても使用できます。

以下の手順を実行します。

ステップ 1:イメージを開きます。

スタンドアロン版で作業する場合:

[ファイルを開く]ダイアログボックスを開くには、空のワークスペースをダブルクリックするか、 🂦 ボタンをクリックします。 使用可能なホットキーは、

- プラグイン版で作業する場合:

使用するフォトエディターの[ファイル] > [開く]コマンドを使用して画像を開きます。

フォトエディターのメニューからプラグインを呼び出します。

AliveColorsでは、[Effects] > [AKVIS] > [Enhancer]、 Adobe Photoshop と Photoshop Elementsでは、[フィルター]メニュー > [AKVIS] > [Enhancer]、 Corel Paint Shop Proでは、[効果] > [プラグイン] > [AKVIS] > [Enhancer]、 Corel Photo-Paintでは、[効果] > [AKVIS] > [Enhancer]をそれぞれ選択します。



ステップ 2:設定パネルのドロップダウンメニューから処理モードを選択します。

[詳細を鮮明に]モードは、イメージの詳細を引き出します。異なる色合いを持つ隣接するピクセル間の違いを強めることで、影領域の詳細だけでなく、 露出過度や中間調の領域の詳細も引き出します。

[プリプレス]モードは、画像の印刷やWebでの公開を行う前の調整に便利です。境界線を鮮明にし、画像のコントラストを高めることができます。 [色調調整]モードは、色の調整に使用できます。明るい領域と暗い領域の明るさを修正します。結果として、画像の全体的な印象が大幅に向上しま す。変更は、イメージ全体、または修正した色を含む部分に適用されます。

こちらのモードの比較をご覧ください。

ステップ 3:設定パネルで選択したモードのパラメーターを調整します。



ステップ 4: 変更したパラメーターの設定で満足の行く結果が得られた場合、それらをプリセットとして保存し、後で使用できます。設定を保存するには、[プリ セット]欄にプリセット名を入力し、[保存]ボタンをクリックします。

カーソルをドロップダウン リストのプリセット名に移動させると、プリセットプレビュー ウィンドウに適用結果が表示されます。



プリセットを指定してイメージを処理するには、リストから目的のプリセットを選択します。[詳細を鮮明に]モードでは、イメージ処理は指定したプリセットの設定で 実行されます。 [プリプレス]と[色調調整]モードでは、 🍙 を押して画像の処理を実行します。

次から、プログラムを実行した際には、これらの各種設定が既定値として使用されます。パラメーターを変更した場合、**[リセット]**ボタンをクリックすることで、指定したプリセットの初期設定に戻すことができます。

プリセットを削除するには、ドロップダウンメニューから目的のプリセットを選択し、[削除]をクリックします。

ステップ 5: 必要に応じて、スタンドアロン版では [後処理]タブの設定を使用してイメージを更に修正することができます。 ステップ 6: 処理画像を共有するには、
をクリックします。画像を公開可能なサービスの一覧が表示されます。サービスには 等のソーシャル ネットワーク に写真を公開することができます。

スタンドアロン版では、印刷 を行うこともでき、その場合は、 📥 をクリックします。

ステップ 7:結果を保存します。

- スタンドアロン版で作業する場合:

をクリックすると、【名前をつけて保存】ダイアログボックスが開きます。使用可能なホットキーは、Windows の場合Ctrl+Sキー、Macの場合に、キャーです。ファイル名を入力し、ファイルの種類 (TIFF、JPEG、BMP、PNG)を選択し、保存先フォルダーを選択します。

プラグイン版で作業する場合:

[ファイル] > [名前を付けて保存]コマンドを使用して[名前を付けて保存]ダイアログボックスを開き、ファイル名の入力、ファイルの種類の選択、保存先フォルダーの指定を行います。

[詳細を鮮明に]モード

[詳細を鮮明に] モードでは、シャドウとハイライトの両方で画像の詳細を引き出します。



[詳細を鮮明に]モードでのイメージ修正

イメージを[詳細を鮮明に]モードで処理する方法:

[プレビュー]パラメーターの値を選択します。

[プレビュー]パラメーターは、補助的なツールで、実際のイメージの大きさを変更することはありません。元のイメージ サイズや詳細部分はそのまま維持されます。最良の 結果を得ようと各種設定を変更したとき、前処理の段階を高速化できるパラメーターです。

[HQ]オプションを選択すると、元のイメージ サイズ (幅と高さ) は、変化しません。処理にかかる時間は増えますが、プレビューの品質は最も高くなります。[高速]オプ ションを選択すると、イメージ サイズは 1/8 になります。処理速度も短くなりますが、品質は少し劣ります。中間の値では、イメージのサイズが半分または 1/4 になりま す。

注意:パラメーターを調整した場合、HQ処理を実行して、各種設定が最適かどうかを確認することをお勧めします。

画像修正パラメーターを調整します。すべての変更は、自動的に適用されます。

シャドウ(設定可能値は 0 から 500):イメージ内のシャドウ(影)を強めます。値を高くすることにより、暗い領域をさらに暗くすることができます。



ハイライト (設定可能値は 0 から 500):イメージ全体を明るくします。値を高くすることにより、明るい領域をさらに明るくすることができます。



ハイライト = 50

ハイライト = 400

彩度(設定可能値が-50から50):イメージ内の色の強度を変更します。



彩度= -25

彩度= 25

コントラスト勾配(設定可能範囲は0から50):勾配領域の色のコントラストをわずかに増やすことにより、より人目をひき、表情豊かなイメージにします。



詳細レベル (設定可能範囲は 0 から 50):ディテールをどの程度強調するかを定義するパラメーターです。高い値の場合、アウトラインが鮮明になり、イメー ジ内のディテールがより多く強調されます。



詳細レベル = 45

しきい値(設定可能範囲は1から100):詳細レベルを上げる際に、どの部分を強化させるかを定義するパラメーターです。低い値では、イメージ内のすべて のディテールを強化し、高い値では、小さなディテールは無視されます。



明るさ (設定可能範囲は 0 から 20):暗い領域を明るくすることができます。高い値ほどイメージは明るくなります。



明るさ = 5

明るさ = 20

[プリプレス]モード

画像を印刷した場合、モニタ上で見ていたものと仕上がりが異なるという経験をしたことがある方は多いのではないでしょうか。画面上では輪郭線がはっきりして問題ない ように見えても、印刷してみるとギザギザになることもあります。このような現象を避けるため、印刷前に画像を処理することが必要になります。

[プリプレス]モードを使うと、境界線を鮮明にし、画像のコントラストを高めることができます。

画像を印刷する予定がない場合でも、画像をよりよい状態にすることができます。例えば、オンライン上のアルバムに画像を公開する前に処理を行うことができます。



元のイメージ

結果

プリプレスモードでの処理は、以下の手順に従って行います。

ステップ 1:モードを選択すると、 クイック プレビューが表示されます。クイック プレビューとは、点線で囲われた領域を指します。これにより、処理結果のプレ ビューをイメージの様々な部分で確認することができます。プレビュー領域は、ドラッグ アンド ドロップもしくはダブルクリックで別の場所に移動することができます。 処理結果と元のイメージを比較するには、プレビュー 領域でマウスをクリックしたままにします。



プレビュー 領域のサイズの変更は、プログラムの環境設定で行うことができます。

ステップ 2: 画像処理パラメーターを調整します。

[鮮明度]のもとにグループされているパラメーターは、画像をより鮮明で詳細をくっきりさせるために使用します。

[範囲]:設定可能な値は1から100です。オブジェクトの境界部分をどれくらいの幅で鮮明にするかを設定します。高い値では、不自然なハロー効 果を生じさせてしまうことがあります。

[強度]: オブジェクトの境界周辺のコントラストをどれほど鮮明にするかを設定します。パラメーターの値を高めると、画像をはより鮮明になります。このパ ラメーターの結果は、[範囲]の値により変わります。設定可能な値は 0 から 100 です。 [コントラスト]のもとにグループされているパラメーターは、画像内の明るい領域を明るくしたり、暗い領域を暗くしたりすることにより、コントラストを強くします。

[シャドウ]:設定可能な値は -50 から 100 です。シャドウ(影)の部分を鮮明にします。値が高いほどシャドウ部分はより暗くなり、値が低いほどシャドウ部分は明るくなります。

[ハイライト]: 設定可能な値は -50 から 100 です。0よりも右にカーソルを移動した場合、明るい領域はより明るくなります。0よりも左にカーソルを 移動した場合、グレートーンの部分が増えます。



ステップ 3: 画像全体の処理を実行するには、 🍙 をクリックします。

[色調補正]モード

[色調補正]モードは、明暗のある領域の明度を調整することでイメージの色調補正を行うために使用されます。結果として、画像の全体的な印象が大幅に向上します。変更は、イメージ全体、または修正した色を含む部分に適用されます。



[色調補正]モード

[色調補正]モードで画像処理をするには、以下の手順に従って実行してください。

ステップ 1: モードを選択すると、クイック プレビューが表示されます。

クイック プレビューとは、点線で囲われた領域を指します。これにより、処理結果のプレビューをイメージの様々な部分で確認することができます。プレビュー領域 は、ドラッグ アンド ドロップもしくはダブルクリックで別の場所に移動することができます。処理結果と元のイメージを比較するには、プレビュー領域でマウスをクリック したままにします。



プレビュー領域のサイズの変更は、プログラムの環境設定で行うことができます。

ステップ 2: 訂正する色を選択できます。[色セット]を使用してください。

元のセットは、7つの色から構成されます。下の段には追加の2つのセットがあり、それぞれ3つのシェルから構成されます。色をメインセットから下のシェルに移動 することができます。色をドラッグすることで、あるセットから3つの色セットに追加できます。ある色セットを他に切り替えるには、マウスの左ボタンをクリックします。 選択した色セットは、白い背景でハイライトされます。



[色インジケータ]は色セットの選択に役立ちます。

イメージ上でカーソルを移動すると、色インジケータは、対応するポイントの色コンポーネントを表示します。これにより、特定の領域を編集するための色セットをより正確に選択するのに役立ちます。

ステップ 3:[色セット]の各種パラメーターを調整します。

選択した色セットは、白い背景で表示されます。それぞれのパラメーターを変更します。

半径(設定可能範囲は1から60): このパラメーターは、アルゴリズムによって分析する領域のサイズを定義します。分析した後、ポイントに新しい 色と明度情報が設定され、更なる処理に使用される色セットの1つが割り当てられます。

影(設定可能値は0から100):このパラメーターのデフォルト値は0で、暗い領域は訂正されません。パラメーターの値を大きくすると、暗い領域はより明るくなり、詳細が認識できるようになります。暗いシルエットのオブジェクトは、より鮮明になります。

ハイライト(設定可能値は 0 から 100):このパラメーターのデフォルト値は 0で、明るい領域は訂正されません。パラメーターの値を大きくすると、明る い領域は、暗く、コントラストが増加、画像全体のボリューム感が増してオブジェクトが際立ち、鮮明になります。



注意: 色コンポーネントが同じ色セットに属していない場合、パラメーターの適用は混合されます。例えば、赤と黄色が別の色セットにあった場合、オレンジ色の修正が両方の色セット内で行われます。

ステップ 4: 💦 をクリックして、イメージの処理を実行します。

まとめ

このタブはスタンドアロン版 でのみ利用できます。一般的な画像編集ソフトでは、このような修正が極当たり前にできるため、プラグイン版でこのタブは必要ないのです。

[後処理]タブ内で[ヒストグラム]のスライダー、および[明るさ]、[コントラスト]、[ガンマ]、[彩度]の4つのパラメーターを使用して、イメージを更に修正することができます。



処理前

処理後

ヒストグラムは、イメージの色調範囲を表示するグラフです。横のラインは、明るさの値を設定します。縦のラインは、この明るさの値を持つピクセル数を設定します。 ヒストグラムの下には、イメージのコントラストを変更する3つのスライダーがあります。



右側の端点は、最大の明るさ(ホワイトポイント)を持つピクセルを表します。ヒストグラムがこのピクセルを持たない場合、イメージにホワイトポイントは含まれません。白い スライダーを左へ移動すると、スライダーの位置に対するポイントは、最大の明るさ(255)を推測し、この値を持つピクセルは白く映ります。それに従って、他のピクセルの 明るさは再計算され、イメージは明るくなります。

左側の端点は、最大の暗さ(ブラックポイント)を持つピクセルを表します。ヒストグラムが左端から始まらない場合、イメージにはブラックポイントが含まれていません(明る さ=0)。黒いスライダーを左へ移動すると、スライダーの位置に対するポイントは、明るさの最大値を推測します。その結果として、他のピクセルが再計算される一方で、 黒い色調になり、イメージは暗くなります。

中央のスライダーは、イメージの色調を定義します。明るさは128(グレー色調)です。グレー色調は、スライダーを左へ移動すると明るくなり、右へ移動すると暗くなります。

ヒストグラムの近くに、チャンネルのプルダウンメニュー(RGB、赤、緑、青、色、輝度)があります。各チャンネルは、個別に調整することも、組み合わせて補正することもで きます。

[後処理]なブには、イメージの明るさやコントラストの補正、ガンマ補正、イメージの彩度を変更できるパラメータも用意されています。

[明るさ](設定可能値は-100から100):イメージの明るさを変更します。値が大きいほど、イメージの全ピクセルは明るくなり、小さいほど暗くなります。

[コントラスト](設定可能値は-100から100):イメージの明るい部分と暗い部分の差を大きくしたり(値が1以上の場合)、小さくします(値が0未満の場合)。

[ガンマ](設定可能値は50から250):中間トーンを上下することで、イメージ全体のコントラストを変更します。

[彩度](設定可能値は-100から100):イメージ カラーの強度を変更します。

このタブ内で設定を調整すると、自動的に処理が開始され、[処理後]タブに結果が表示されます。

バッチ処理

AKVIS Enhancer がサポートしている バッチ処理 機能は、同じ設定で一連の(複数の)画像を自動的に変換することができ、時間と労力の節約になります。バッチ処理は、パンフレットに同じスタイルのイラストをたくさん作成する場合やビデオのすべてのフレームを処理する場合に便利です。



これまでに、バッチ処理機能を使ったことがないとしても、操作方法は簡単に覚えられます。

AKVIS Enhancer のスタンドアロン版をご利用の場合は、こちらの手順をご覧ください(AKVIS社のWebサイトの英語チュートリアル)。

Enhancer のプラグイン版を Photoshop で使用する場合、こちらのチュートリアルをご覧ください。

パッチ処理: プラグイン

AKVISバッチ処理を使うと、複数のファイルに自動的にプラグインを適用することができます。

複数のファイルにプラグインを適用するには、まず、**[バッチ処理]**コマンドを使って**アクション**を作成しておき、そのアクションをイメージが保存されているフォルダに適用しま す。アクションには複数のコマンドを記録することができるため、一度に大量のイメージを処理できます。

ステップ 1: ハードディスクに'source-files'と'result-files'の2つのフォルダを作成します。 ステップ 2: 'source-files'フォルダのフレームを1つ選び、Adobe Photoshopで開きます。



ステップ 3 : [アクション]パレットを開き、[新規作成]ボタンをクリックします。表示されるウィンドウにて、新規アクションセットの名前を設定します(例: AKVIS)。



ステップ 4: パレット下部の[アクションの新規作成]ボタンをクリックします。表示されるウィンドウにて、アクション名を設定します(例: Oil)。



[記録]ボタンをクリックしてアクションの記録を開始します。

×									
Hi	story	A	ction	ns					
~	Ξ		D	efault	Actio	ons			
~		-		kvis					
~			AB						
~			AS_	_16					
~		>	МΚ	_6					
~			N_4	1.0					
			Oil						
1				►			÷		
0				- Vinuur	41			aleris	

ステップ 5: AKVISを呼び出し、最適なパラメータ設定を行います。



ステップ 6: 🕥 をクリックして適用します。

×		
History	Actions	
✓ □ >	Default Actions	
	🖿 AKVIS	
 Image: Image: Ima) AB	
 Image: Image: Ima	> AS_16	
 Image: Image: Ima) мк_6	
 Image: Image: Ima	> N_4.0	
 Image: Image: Ima	∨ oii	
 Image: A second s	> AKVIS OllPaint	
	● ► = 🗈 💼	

ステップ 7: [ファイル]メニューから[名前を付けて保存]をクリックし、'result-files'フォルダにイメージを保存します。 ステップ 8: [アクション]パレット下部の[停止]ボタンをクリックしてアクションの記録を停止します。

×		
History	Actions	
-	AKVIS	
 Image: A second s	> AB	
~	> AS_16	
< □	> мк_б	
 Image: Image: Ima	> N_4.0	
< □	∨ oii	
~	> AKVIS OilPaint	
 Image: Image: Ima	> Save	
C) 🕨 🕨 🖬 🗉	

ステップ 9: イメージを閉じて、'result-files'フォルダに保存したばかりのファイルを削除します。

ステップ 10: アクションが作成されたので、ビデオフレームのバッチ処理ができるようになりました。エディタの[ファイル]メニューから[自動] > [バッチ]コマンドを 選択します。

ステップ 11:表示されるパッチウィンドウ内のすべてのデータと設定を割り当てます。

[セット]フィールドで"AKVIS"を選択し、[アクション]フィールドで"Oil"を選択します。

[ソース]フィールドはイメージのソース選択に使用します。フォルダ エントリ(特定のフォルダをソースとして指定できます)を指定します。フォルダの[選択] をクリックし、'source-files'フォルダを指定します。

[ファイルを開く]コマンドをアクションに記録しない場合は、【"開く"コマンドを無視】チェックボックスをオフにしてください。

[保存先]フィールドでフォルダエントリを指定し、[選択]をクリック後、'result-files'フォルダを選択します。

["名前を付けて保存"コマンドを省略]オプションをオンにします。

[ファイル名]では、処理後のイメージの名前変更方法を設定します。名前を変更しない場合は、最初のフィールドでドキュメント名を指定し、2つ目の

	Batch		
Play	Destination: Folder ~		6
Set: AKVIS	Choose		<u> </u>
Action: Oil	/Users/Ludmila/Desktop/result-files/		Ca
Source: Folder v	Override Action "Save As" Commands File Naming		
Choose	Example: MyFile.gif		
/Users/Ludmila/Desktop/source-files/	Document Name	Document Name ~ +	
Override Action "Open" Commands	extension	extension ~ +	
Include All Subfolders		None 🗟 ~ +	
Suppress File Open Options Dialogs		None v +	
Suppress Color Profile Warnings		None ~ +	
France: Stop for Errore		None ~	

ステップ 12: [パッチ]ウィンドウの[OK]ボタンをクリックします。これで、Photoshopは'source-files'フォルダ内のフレームを1つづつ処理し、'resultfiles'フォルダに保存していきます。1つのファイルの処理には約18秒かかり、591フレームで構成されたビデオ全体の処理には約3時間かかります。

プログラムの環境設定

📩 をクリックして [環境設定] ダイアログボックスを開きます。 次のように表示されます。

Preferences	×
Language	English 💌
Interface Scale	100% 🔻
Interface Theme	Dark 💌
Initial Scale	⊙ Fit to View ○ 100%
Preview Window Size (pixels)	1000
Recent Files	30
Hints └ Lock the Control Panel └ Use GPU	Under Settings Panel 🔻
OK Cancel	Default

- 言語: ドロップダウンメニューから目的の言語を選択して変更します。
- インターフェイスの拡大/縮小:インターフェイス要素のサイズを選択します。自動に設定されている場合、ワークスペースは、自動的に画面の解像度に合わせて拡大/縮小されます。
- インターフェイステーマ:インターフェイスのテーマを選択します。明るい, グレー または 暗いの3種類のテーマがあります。
- 初期の比率:このパラメーターは、読み込んだイメージをメインウィンドウで表示(拡大/縮小)する方法を設定します。
 - 画面にあわせる:イメージ全体が表示されるように、拡大/縮小率が調整されます。
 - 100%:実際のサイズが使用され、イメージの拡大/縮小は行われません。
- プレビューウィンドウサイズ: クイック プレビューのサイズは自由に設定できます。プリプレスと色調補正モードでは 300x300 ピクセルから 1,000x1,000 ピクセルの間で自由に設定できます。
- 最近使ったファイル (スタンドアロン版のみ):最近使ったファイルの表示数を指定します。時間でソートされた使用ファイルの一覧は、 素示されます。最大数:設定可能な最大ファイル数は、30ファイルです。
- ・ ヒントパネル:ヒントの表示方法に関する設定は以下の通りです。
 - イメージウィンドウの下:
 - 設定パネルの下:
 - 隠す。
- コントロールパネルを常に表示:トップパネルの表示/非表示の切り替えができなくなります。このチェックボックスがオンの場合、パネルは常に表示されます。
- [GPUを使用].チェックボックスを有効にすると、GPU アクセラレーションが作動します。コンピューターがGPUアクセラレーションをサポートしていない場合は、 チェックボックスは無効になっています。

[環境設定]ウィンドウでの変更内容を保存するには、[OK]をクリックします。

既定値に戻す場合は[既定値]をクリックします。

印刷

AKVIS Enhancer のスタンドアロン版では、イメージを印刷することもできます。 📥 を押すと [印刷]オプションが表示されます。



AKVIS Enhancer での印刷オプション

設定パネルのパラメーターを調整します。

リストからプリンターを選択し、希望の解像度と部数を指定します。

[印刷の向き]では、紙の方向を設定します。 [縦]または [横]から選択します。

[ページ設定]をクリックして表示されるダイアログボックスでは、用紙サイズ、印刷の向き、余白などの設定を行うことができます。

[余白のリセット]をクリックすると、ページのマージンをデフォルトの設定値に戻すことができます。

イメージの印刷サイズを変更するには、**[比率]、[幅]、[高さ]、[ページに合わせる]**等のパラメーターを調整します。これらは印刷にのみ影響するものであり、 イメージ自体には影響しません。印刷するイメージのサイズ変更を行うには、[比率]に値を直接入力するか、**[幅]と[高さ]**に値を入力します。

イメージサイズを用紙に合わせる場合は、[ページに合わせる]チェックボックスをオンにします。

ページ上のイメージをマウスで動かしたり、矢印キーを使って揃えたりできます。

[枠]を有効にし、枠の幅や色を指定できます。

色パレットをクリックして、[背景色]を変更できます。

[ページ]タブでは、1枚にイメージを複数印刷するための設定を行うことができます。



- [割り付け]: 1ページに画像を何枚印刷するかを指定します。
- [水平方向] と [垂直方向]: これらの数は、それぞれイメージの行と列の数を意味します。
- [間隔]: イメージ同士の間隔を指定します。

[ポスター]タブでは、大きな画像を複数のページに分け、それぞれの結合部分とともに印刷することができます。



- ポスター印刷
- 【ページ】: チェックボックスがオンの場合、イメージを何枚に分けて印刷するかを指定できます。この設定に応じて、イメージの拡大率が調整されます。 チェックボックスがオフの場合、プログラムが実際のサイズに応じて、自動的に最適枚数を選択してくれます。
- [のりしろ]: チェックボックスがオンの場合、ページの結合部分ののりしろの幅を指定できます。のりしろはページの右側と下部に追加されます。
- 【切り取り線】: チェックボックスがオンの場合、余白に切り取り線を表示させることができます。
- 【ページ番号の表示】: チェックボックスがオンの場合、行と列の番号が余白部分に表示されます。

指定したパラメーターでイメージを印刷するには、【印刷】ボタンをクリックします。 変更をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じるには、【キャンセル】をクリックします。

[プロパティ...]ボタンをクリックすると、システムダイアログボックスが表示され、詳細な設定を行ったり、印刷を行ったりできます。

新鮮なイチゴ

AKVIS Enhancerの[色調調整]モードは、画像内の特定の色の明るさを調整したい場合に便利でしょう。

ここでは、イチゴの画像を使用してその方法を紹介します。



画像を開きます。



まずは、イチゴの色を際立たせることにします。そのためには、既存の色セットから赤を、新たに別のセットに移動させます。



選択した色は、白でハイライトされます。色セットの設定を調整します。

[ハイライト]を70に、[直径]を45に設定します。これにより、色の濃い、高級感あふれるイチゴに見えます。葉の色に変化はありません。



次に、葉っぱの色を濃くします。緑を新しい別のセットに移動させます。



緑を含むセットの設定は、[ハイライト]を90に変更します。

設定を画像全体に適用するには、 🌔 をクリックします。葉っぱは濃くなり、画像全体がより自然な印象になります。



このように、画像内の特定の色を濃く/淡くすることにより、画像の処理結果が異なり、素晴らしい結果をもたらすことがあることが分かります。

透き通った氷

画像を見て鮮明だと満足していたとしても、AKVIS Enhancer の [プリプレス] モードで処理を行ってみると、画像の鮮明度に対する見方が一変するでしょう。

このチュートリアルでは、氷の画像を使用します。この状態でも問題はないですが、曇ったガラスを通して氷を見ているような気持ちは残ります。



イメージをクリックすると、新しいウィンドウでイメージを拡大して見ることができます ステップ 1: 処理を行う画像を AKVIS Enhancer で開きます。モードの一覧から [プリプレス] を選択します。



ステップ 2: プレビュー領域には、デフォルトの設定を使った場合の処理結果が表示されます。画像は鮮明になりましが、より良い結果を得るために、設定を調 整したほうが良いでしょう。以下の画像の設定に合うよう、設定を変更します。

Sharpness	
Radius	20
Strength	75
Contrast	
Shadows	70
Highlights	45
	-•

ステップ 3: ここまでしたら、後は 🍙 をクリックして、設定を画像全体に適用するだけです。

処理後の画像はより鮮明になり、氷の表面の小さな水滴までもが見えるようになっています。氷はとてもリアルで、手を伸ばしたら触れられそうなほどです。



最終処理結果 イメージをクリックすると、新しいウィンドウでイメージを拡大して見ることができます。

暗い街路の写真を明るく

日差しの少ない街路などで写真を撮ると、肝心の被写体が暗くて見づらくなってしまうことがあります。AKVIS Enhancer の[詳細を鮮明に]モードを使用すれば、 このような影のかかった被写体のディテールも引き出すことができます。





結果

このチュートリアルでは AKVIS Enhancer のプラグイン版を使用していますが、スタンドアロン版でも、同じパラメーターを使って同様の結果が得られます。

ステップ 1:AliveColors などのフォトエディターで写真を開いて、AKVIS Enhancer プラグインを動作させます。(スタンドアロン版をお使いの場合は、 AKVIS Enhancer プログラムを起動。)



ステップ 2:AKVIS Enhancer プラグインを呼び出すには、 AliveColorsの場合は、[Effects] > [AKVIS] > [Enhancer]、Adobe Photoshopの場合は、[フィルター] > [AKVIS] > [Enhancer]、Corel Paint Shop Proの場合は、[Effects] > [Plugins] > [AKVIS] > [Enhancer]を選択します。

[詳細を鮮明に]モードを選択します。イメージ処理は既定の設定で実行されます。



ステップ 3:写真の露出不足を解消するために、暗い領域のディテールをできる限り引き出す必要があります。最大限の結果を得るために、[明るさ]のパラメー ターの値を上げ、その他の設定の調整をします。



ステップ 4: プラグイン版で画像修正の結果を適用するには、 🕔 ボタンを押してください。

AKVISプログラム

AKVIS AirBrush - エアブラシを使ったぼかし処理を手軽に適用

AKVIS AirBrush は、写真をスプレー塗料またはインキをスプレーする特殊なエアブラシツールで作られたように見える芸術作品に自動的に変換します。ソフトウェア は、選択した写真から絵画への変換設定を使用して、画像からスタイリッシュでカラフルなエアブラシデザインを作成する芸術的なフィルタとして動作します。詳細情報



<u>AKVIS Artifact Remover AI - JPEG 圧縮画像の補整</u>

AKVIS Artifact Remover AI は、AIアルゴリズムを使用して、JPEG 圧縮アーテファクトを取り除き、圧縮した画像本来の品質に補整します。このソフトウェア は、無料で利用できます。ホームユーザーにも上級ユーザーにも活用いただけるツールです。詳細情報



AKVIS ArtSuite — 写真をオリジナルで華やかに飾ります!

AKVIS ArtSuite は、写真を飾るための印象的かつ多用途な効果を集めたものです。写真をオリジナルで華やかに飾ります!友人へ送るポストカードの作成、旅の思い出アルバムの作成、デスクトップ用の壁紙、または、アート感覚で楽しむためなど、さまざまな場合で必要になるでしょう。ArtSuiteは、いくつかの基本的な効果が用意されており、効果を適用したバージョンを無限に作成できます。詳細情報



<u>AKVIS ArtWork - 写真から絵画を作成しましょう!</u>

AKVIS ArtWorkは、様々なペイントテクニックを模倣できるよう設計されています。プログラムは、8 種類のペインティングスタイルを提供しています: 油絵、技法、グ アッシュ、コミック、ペン & インク、リノカット、パステル、点描。簡単にデジタル写真から名作を作り出すことができます。詳細情報



<u>AKVIS Chameleon - フォトコラージュ作成</u>

AKVIS Chameleon は、挿入した被写体の自動調整、対象のイメージカラー範囲の調整、被写体の境界の円滑化などができる効果的なツールです。このツールはいくつかの目的に役立ちます: 写真に新しい被写体を挿入したいけれど、従来のツールよりもフレキシブルで簡単なものがほしい(コラージュ作成), いらない不具合を、イメージの近くのパーツと置き換えて隠したい(クローンツールと類似)。詳細情報



AKVIS Charcoal — 簡単なステップで写真が木炭画になります!

AKVIS Charcoal は、写真を木炭やチョークを使用して描いた絵のように変換することのできる芸術的なツールです。黒と白の著しい違いを使用した材料の統合もできます。色やオプションを使用することによって、素晴らしい芸術的な効果を作り上げることができます。詳細情報



<u>AKVIS Coloriage - 白黒写真を色付けする</u>

AKVIS Coloriage で白黒写真に息吹を!

Coloriageを使用すると、白黒写真をカラー写真として蘇らせることができるだけでなく、カラー写真の色を変更して印象を刷新したりすることができます。詳細情報



AKVIS Decorator - 被写体の模様や色を変更

AKVIS Decorator は、被写体表面の色や模様を違和感なく変更することができるソフトウェアです。このソフトウェアを使用すると、女性のドレス、車体、家具など、写真の一部を選択して、新しい色や模様を適用することが可能です。詳細情報



<u>AKVIS Draw - 手書きの鉛筆画への変換</u>

AKVIS Draw は、デジタル画像から、手書きの鉛筆画やラインアートを作成します! ソフトウェアは非常に使いやすく、ワンクリックで自然な鉛筆画を作成します。詳細情報



AKVIS Enhancer — 詳細を引き立てるツール

AKVIS Enhancer は、不鮮明になってしまった原因に関わらず、ディテールを高めることができるイメージ補正ソフトウェアです。本プログラムは、露出が均一ではない写真から露出不足、露出過度、中間調の各領域のディテールを検出します。詳細情報



AKVIS Explosion - 素晴らしい粒子の爆発効果

AKVIS Explosion は、写真に爆発効果を追加し、砂などの粒子を適用します。このソフトウェアを使用することで、人目をひくグラフィックを数分で作成できます! 詳細情報



AKVIS Frames - フレームパック

AKVIS Frames は、AKVISフレームパックと共に機能する無料写真校正ソフトウェアです。

このプログラムを使えば、専用の写真フレームであなたの写真を簡単にデコレートすることができます! 詳細情報



<u>AKVIS HDRFactory - 実際よりも明るい画像に</u>

AKVIS HDRFactory では、単一イメージまたは同様のイメージを複数枚を使用して、HDRイメージを作成できます。このプログラムは画像修正を行うために使用 することもできます。AKVIS HDRFactoryで写真に息吹、そしてより鮮やかな色合いを! 詳細情報



<u>AKVIS LightShop - 光と星の効果</u>

AKVIS LightShop を使って、無限の光のイメージ効果を作成してみましょう。荒れ模様の空にある光、町を横切るカラフルな虹、雫に映る反射、暖炉の燻っている木の炎、夜空の中で輝く未知のサイン、太陽の揺らめく炎、遠方の惑星の光、花火 - 貴方の想像の限りに! 詳細情報

<u>AKVIS Magnifier AI — きれいに画像解像度を上げることができます!</u>

AKVIS Magnifier AI を使えば、効率的に画像解像度を上げることができます。 Magnifier AIは、先進の拡大アルゴリズムを用い、ポスターサイズ印刷にまで 対応できるよう、デジタル画像を驚くほど美しく超高解像度に拡大します。詳細情報

<u>AKVIS MakeUp - 理想の肖像画を作成しましょう!</u>

AKVIS MakeUp を使うと、写真に魅力が加わり、プロのような仕上がりが期待できます。 肌に見られるシミなどのレタッチを行い、輝きがあり、美しく、滑らかで、澄んだ肌を作り出します。詳細情報

AKVIS NatureArt ーリアルな自然現象がデジタルアートで再現できる!

AKVIS NatureArt は、壮大な自然現象をデジタル写真に再現するための素晴らしいツールです。自然の効果は、私たちが受ける印象に与える影響が大きく、写

真からくる印象を強調するために使用することもできます。自然現象の効果を劇的に追加したり、天気を変えたりできます!詳細情報

AKVIS Neon - グローエフェクト

AKVIS Neon は、ネオンのような発光インクを使用して描いたように見える写真に変換します。このツールを使用すると、驚くような輝くラインエフェクトを作成できます。まるで光を使って描く画家になったような気分が味わえます! 詳細情報

AKVIS Noise Buster AI - デジタルノイズリダクション

AKVIS Noise Buster AI を使用すると、写真の印象を損なうことなく、デジタル写真上の輝度ノイズとカラー ノイズの両方を低減することができ、プロの写真家が 撮影したような仕上がりが得られます。詳細情報

<u>AKVIS OilPaint 一油絵効果</u>

AKVIS OilPaint は、写真を油絵に変換するソフトウェアです。プログラムの特長は、ブラシ ストロークの芸術的な適用を行うユニークなアルゴリズムにより、可能な限り本物のブラシで描いたように見えるよう変換されるという点です。詳細情報

AKVIS Pastel — 写真をパステル画に変換

AKVIS Pastel は写真をパステル画調に変換します。このプログラムは、芸術的テクニックの一つでもあるパステルアートをデジタル画像で作りだそうというものです。 詳細情報

<u>AKVIS Points 一 点描</u>

プログラムを使用することで、イメージを点描画法を使用した芸術作品に変換できます。写真であっても、点描画法を使用した素晴らしい絵画になります!詳細情報

AKVIS Refocus AI - ピンボケの修正とぼかし効果

AKVIS Refocus AI は、ピンぼけしたイメージを鮮明にします。イメージ全体の処理を行うことはもちろん、背景に対して手前の被写体などが目立つように指定部分のみピントの調整を行うこともできます。本ソフトウェアには、[リフォーカス AI]、[逆ティルト効果]、[アイリスぼかし]、[移動ぼかし]、[放射状ぼかし]の5つのモードがあります。詳細情報

AKVIS Retoucher — 画像修復ソフトウェア

AKVIS Retoucher は、傷やチリを効果的に除去できるソフトウェアです。Retoucherでは、チリ、傷、破片、しみ、水腐れ、その他損傷を受けた写真に見受けられる不具合を除去することができます。Retoucherは、生産性を向上し、表面の不具合による作業を減らすことができるのです。詳細情報

AKVIS Sketch - 写真から鉛筆画を作成しましょう!

際に描いたようなカラーや白黒の絵を作成することができます。詳細情報

AKVIS SmartMask - 選択範囲の作成を簡単にします

AKVIS SmartMask は楽しみながら使え、時間も節約できる効率的な選択範囲用ツールです。今までにはない、シンプルな選択範囲用ツールです! 選択範囲の指定にかかる時間が短縮される分、創作活動に時間を使うことができます。詳細情報

AKVIS Watercolor 一 水彩画

AKVIS Watercolor は、本物さながらの素晴らしい水彩画を生成できます。詳細情報

